企画環境委員会　2021年度事業計画＆PDCAシート

2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	進捗評価（〇△×）	〇〇月度振返り
委員会スケジュール	28		3			6		26			3			
大阪代協 年度方針	**◆理念　　：大阪代協を活性化させ、保険代理店の持続的な発展、職業魅力の向上を実現する** **◆テーマ　　：～経営や保険本業にも役に立つ、楽しい魅力ある大阪代協をつくる～** **◆スローガン：つながる・つたえる　大阪代協**													
公平・公正な 募集環境 構築への取組み	通年													
	募集の公平性の維持、不公正な競争の排除は、保険契約者の利益保護並びに保険業界全体の健全な発展のために重要であり重点施策として継続的に取り組む。 **(1)個別事案への対応** 個別事案の収集やモニタリングに努め、問題事案が発生した時はブロック協議会や日本代協企画環境委員会と連携して速やかに事案の対応にあたり改善と再発防止の対策を求める。特にディラーの抱き合わせ販売等への対応は、速やかに情報を収集・整理し当該ディラーと引受保険会社に対し改善・対策を求める。必要に応じて金融庁や財務局に問題事案の報告を行う。 **(2)特定修理業者の対応** 法律的な問題を整理した上で、保険会社・損保協会・消費者団体等と協力し損保協会等の啓発チラシを活用して契約者への注意喚起に努める。引き続きモニタリングを継続し必要に応じて対応策を協議する。 **(3)業際問題に対する取り組み** ■銀行等の窓販対応：優越的地位を利用した圧力募集等のモニタリングを継続し、問題事案が発生した場合はブロック協議会を通じて日本代協企画環境委員会に報告し改善と再発防止の対策を行う。引き続き、弊害防止措置の存置を支持し、消費者保護の観点から注意喚起チラシを契約者・消費者に配布し情報提供を行う。 ■日本郵政グループによる保険販売対応：自動車保険販売についてモニタリングを継続し問題事案があればブロック協議会を通じて日本代協企画環境委員会に報告し改善と再発防止の対策を行う。長期火災等の取扱種目の拡大については断固阻止の姿勢を継続する。 **(4)団体契約・集団扱い・団体扱割引の適正な適用** 消費者の利益保護の観点から現場の運用をモニタリングし、問題事案があればブロック協議会を通じて日本代協企画環境委員会に報告する。													
共通化 標準化 への対応	通年													
	共通化・標準化を図ることで消費者（契約者）にメリットがあると考えられる事案を検討・集約し日本代協企画環境委員会に報告する。 検討に際して必要な視点は、以下の４点。 ■消費者（契約者）にとっての分かりやすさ・利便性の向上（トラブル、不信、無用なロードの抑制） ■代理店・募集人の業務効率化（顧客対応時間の確保・生産性向上） ■保険会社の業務効率化（収益改善、保険料引き上げ抑制） ■環境変化への対応（新たな共通化・標準化領域の検討）													
会員の声、思い を収集する取組み			アンケート実施			アンケート結果公表								
	環境が激変する中、会員の規模・特性に応じた課題・悩み・期待を収集するアンケートを実施し、代協ﾋﾞｼﾞｮﾝの論議、会員満足度の向上に活用する。 ■アンケート結果を通して、魅力があり役に立つ環境・組織を構築するために何が必要かを議論しさらなる活性化に繋げていく。 ■消費者から信頼され選ばれる目指すべき募集人・代理店となるための成長への道標（あるべき姿へのロードマップ）を日本代協企画環境委員会と連携し推進していく。 ■「チャネル間競争力強化策・消費者並びに契約者に代理店の価値を伝える施策」を日本代協企画環境委員会と連携し推進していく。													
消費者団体との 対話活動								全相協総会参加						
	消費者団体に寄せられた保険業界や代理店・募集人に対する「お客様の声」を知り、消費者の意向を情報収集し顧客本位の業務運営に役立てる。													